

頑張ってます！ KESTES 奨学生 2011年度3学期 成績精査結果報告

- ①奨学生名(担当隊員)
- ②学年・成績
- ③今回支援額
- ④支援継続の有無

①**ブライアンオチング**
(漢) ②Form3・C+ (学年9位/134人)
③Ksh38,075 ④継続

①**オデロ ファレッシュ**
(木内) ② Form1・B+ (学年39位/486人)
③Ksh56,806 ④継続

①**ピーター カビロ**
(加藤淳・西川)
② Form3・C+ (学年10位/88人) ③Ksh35,323 (寮費込) ④継続

①**ナンゴリ ヘンリ**
(望月) ② Form2・C+ (学年103位/333人)
③Ksh43,700 (ユニフォーム代等含む。) ④継続

①**モイ ティベリアス**
(松原) ②Form2・C+ (学年195位/430人)
③Ksh60,806 ④継続

卒業おめでとう！

①**サンバ ケネディ**
(松本・小野)
②Form4
KCSE(最終試験)終了

《サンバ・ケネディ君》セカンダリー課程無事修了!! また新たにKESTESから卒業生が誕生しました。

ケニアの年度が終わりを迎える12月、奨学生のサンバ君が無事にセカンダリースクールを卒業しました。サンバ君は担当者の小野隊員(21-3)・松本隊員(21-4)から多くの励ましをもらいながら、最後まで優秀な成績で私たちの期待にこたえ続けてくれました。そんなサンバ君の卒業をお祝いして昨年12月にナイロビ市内で食事を開きました。特別ゲストとして元 KESTES 奨学生のキホロ博士をお招きし、陸上競技で大活躍中の現奨学生のオチング君と16名のKESTESメンバーと共に楽しい交流会となりました。多くの日本人に囲まれ最初は緊張していたサンバ君も会の終盤ではキホロ博士から色んな話を聞くなどしてとても楽しんでくれたようです。卒業後も自分の道を切り開いていったキホロ博士から多くの刺激をもらったサンバ君、「将来はパイロットになる」という目標に向かって引き続き頑張ってくれることと思います。



サンバ君(前列右から3人目)とキホロ博士(前列中央)を囲む食事会の様子《12月ナイロビ市内にて》

キホロ博士プロフィール
元 KESTES 奨学生。ケニアアッタ大学修士課程を修了。ジョモケニアアッタ農工大講師の職を得て博士号(数学)取得。現在も同大学で教鞭をとる。20年前に自分を支援してくれた KESTES を通じて優秀な生徒の学費を支援したいと考え、寄付を寄せてくれている。

KESTES☆Tシャツ 好評発売中!!

1枚 1,000 Ksh
(内 500ksh 寄付)

販売場所: JOCV ドミトリ



きっかけは「スマイルアフリカチャリティランinキベラ」でした。 新たな展開から生まれたKESTES新奨学生を紹介します。

今回新しい形で新奨学生を支援することが決定しました。

そのきっかけとなったのが今年の7月31日にキベラスラムで行われた「スマイルアフリカチャリティラン」の広報活動でKESTES奨学金制度を知ったジェーン・ジェシカさんの母親が自ら委員長に連絡をしてくれました。これまでのKESTES奨学生は全て隊員の配属先の学校の生徒でした。しかし、「支援を必要とする一人でも多くの子供たちの目標を達成するための手助けができれば」という思いから、その後、福尾委員長とその他隊員立会いのもと面談が行われ、基本的条件を十分満たし、母娘共に誠実な印象を受けたことからジェーンさんへの支援が決定しました。ナイロビのマダレ地区のスラム生活で、病に苦しむ多くの人々を今まで見てきた彼女の目標は「医者になること」です。今までの成績は常に学年1,2位だった彼女の卒業までの残り1年間、このKESTES奨学生制度が奨学生と未来の懸け橋となれるよう、担当者に立候補してくれた森岡隊員と松田隊員を中心に精一杯支援活動に励みたいと思います。

新規奨学生

奨学生名: ジェーン・ンジェンガ / Jane Wanjiru Njenga

担当者: 森岡隊員(22-2)、松田隊員(22-3)

所属校: Karatina Girl's High School Form3 成績: B- (学年2位/78人) 学費: Ksh15,994

奨学生ファレッシュくんから KESTES への手紙

今回の申請時に奨学生ファレッシュくんから KESTES に寄せられた手紙を紹介します。

私は3歳のときに両親を亡くし一切の身寄りがありません。そのため初等教育を受けることも難しい状況にありました。しかし、たくさんの心優しい方・支援者に支えられ、プライマリー・スクールを卒業することができました。マランダ・ハイ・スクールでは KESTES の支援のおかげでフォーム1を無事に終えることができています。私は謙虚に、人に優しく、誠実に学生生活を送っています。学校の規則や先生の言うことには真面目に従っています。どんな立場の人に対しても、尊敬の念を失いません。学業についても、成績優秀者として最善の成果を残すために、できる限りの努力をしています。KESTES のみなさまは私の人生を変えてくれました。これからも、私の夢である医者になりケニアに貢献するため、そして将来私のような恵まれない学生に手を差し伸べることができるように、日々の勉強に取り組みます。私は KESTES の期待に応えられるように頑張ることを誓います。また、マランダ・ハイ・スクールだけでなく、ケニア全体の模範的な学生になれるように努力します。最後になりますが、KESTES の支援にとても感謝し、今後のご活躍をお祈りしています。

福尾朋洋委員長(21-4)退任の挨拶

無事任期を満了し引退することになりました。至らぬところもありましたが、温かいご支援、有難うございました。2人だった奨学生が最大7名になり、目標であった“一人でも多くの子供を学校に”を多少なりとも達成出来たかと思えます。ジェーンという学生に KESTES が支援する旨を伝えに行った時のあの喜びの裏に見えた安堵の表情が、自分達が行っている活動の有意義さを物語っていたと思います。まだまだ多くの子供が学校に通えずにいます。より多くの子供が安心して笑えるよう今後とも KESTES の支援をよろしくお願い致します。有難うございました。《後任に加藤敦史隊員(23-1)が新しく委員長となりました》

会計報告

(2011年12月残高)

○KSH 488,426 シル

○USD 2,928 ドル

KESTES委員39名・奨学生6名

Kenya Students' Educational Scholarship